

HACCP導入の必要性が高い業種等に対する重点的な普及推進

- HACCPは、幅広い食品等事業者に対して普及を推進することとしているが、特に以下のような業種については、HACCP導入の必要性が高いことから、重点的に取り組まれる必要があると考えられるのではないかと。

① 我が国における衛生管理の一層の徹底を図る観点からは、フードチェーンにおいて多くの事業者が関与する業種や、食中毒が起こった場合に広域化・大規模化するおそれが高い業種

② 輸入食品の安全性を確保する観点からは、相手国に対して適確なHACCPの実施を求めていく必要性が高い業種

③ 輸出促進の観点からは、諸外国への輸出ニーズが高い業種

- また、食品等事業者が求められるHACCPに関するニーズに応じた支援等にも取り組む必要があると考えられる。

① 取引先からHACCPによる衛生管理の実施及び証明を求められるニーズ

- 具体的にどういった業種において、HACCPの普及を特に進めていくかについては、関係業界のニーズ(どういった業種についてHACCP導入の手引き書を作成すべきか等)も踏まえながら、検討を進めてはどうか。

我が国におけるHACCP普及状況を踏まえた 更なる普及方策の方向性

－現状分析①－

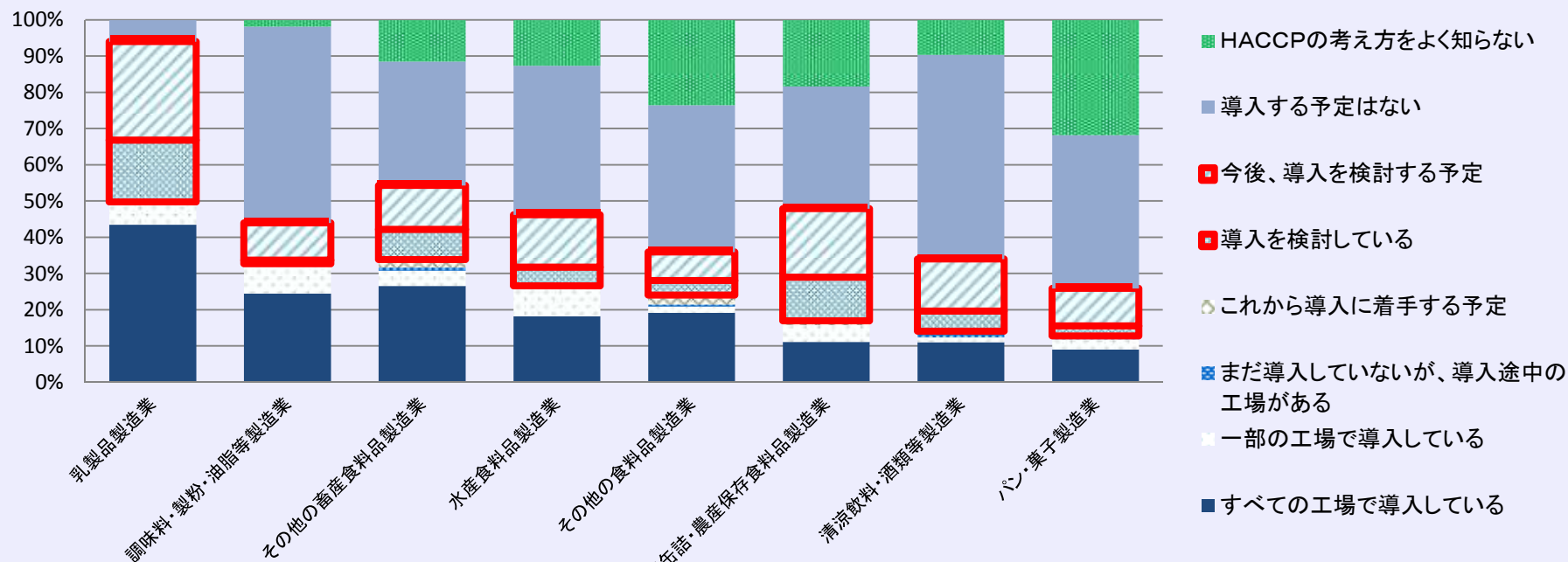
現状分析

	全体	中小規模層 (1～50億円未満)	大規模層	
			50～100億円未満	100億円以上
1996年度	15%	16%	68%	73%
2010年度	19%	22%	77%	73%
2011年度	24%	27%	67%	76%
2012年度	24%	27%	80%	84%

出典：1996年度は「食品産業動向調査」、2010～12年度は「農林水産省HACCP導入状況調査」

- 中小事業者の導入率は、3割程度。
- 導入率は業種ごとに違いがある。
- 「導入を検討している」及び「今後、導入を検討する予定」としている率も業種ごとに違いがある。

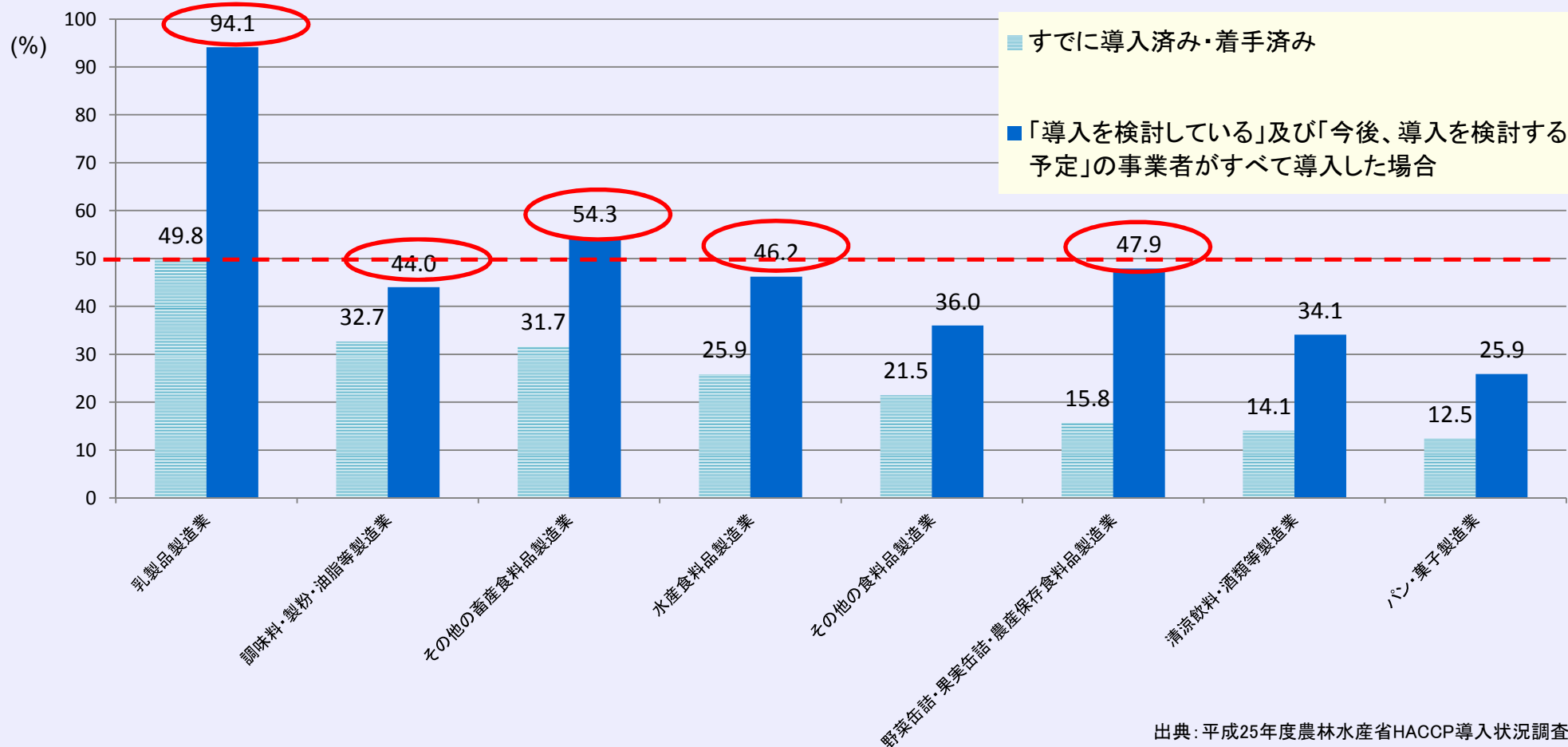
業種別のHACCP導入状況



出典：平成25年度農林水産省HACCP導入状況調査



事業者における検討予定等を踏まえた導入率(見込み)



➤ 「導入を検討している」及び「今後、導入を検討する予定」の事業者がすべてHACCPを導入した場合の導入率は、「乳製品製造業者」では9割を超え、「調味料・製粉・油脂等製造業」「その他の畜産食料品製造業」「水産食料品製造業」「野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業」では約5割に。

更なる普及方策の方向性 – 基本的な考え方① –

HACCP導入に前向きな事業者に対する助言等の支援

- 導入の検討に前向きな事業者(「導入を検討している」及び「今後、導入を検討する予定」)は少なくない。
- 中小事業者も含め、HACCP導入を一層促進するためには、まずもって、「導入を検討している」及び「今後、導入を検討する予定」としている事業者におけるHACCP導入を実際のものにしていくことが重要ではないか。

消費者や流通・販売業界も含め、HACCPに対する本質的な理解・関心の醸成

- 中小事業者からの直接の購入者は、消費者だけでなく、むしろ流通・販売業界が多くを占めると考えられる。
- これまで導入率が低い業種においても、消費者や流通・販売業界も含め、コーデックスの示すHACCPに対する本質的な理解や関心が高まれば、競争力向上のためにも検討に積極的になることが期待されるのではないか。

コーデックスの柔軟性の考え方も踏まえた、事業者よっての導入負担の軽減

- HACCP導入が伸び悩んでいる中小事業者においては、「HACCPは高度で難しい」というイメージがまだ根強いが、導入事業者からは、「やってみると次第に定着していく」という感想も寄せられている。
- 導入にあたっての心理的ハードルを解消するための普及啓発と、実際に導入するにあたってそのまま事業者の現場で活用できるツール開発を進めるべきではないか。
- ツール開発等にあたっては、コーデックスが示す柔軟性の考え方を踏まえ、中小事業者であっても7原則を確実に実施するための柔軟な対応方法について検討してはどうか。

更なる普及方策の方向性 – 基本的な考え方② –

HACCP導入に取り組むメリットを向上させる仕組みづくり

- 食品事業者からは、HACCPに取り組むことのメリットが感じられるような仕組みづくりが求められている。
- 流通・販売業界等においては、製造業者等がHACCPに取り組んでいるかが分かるようにしてほしいとのニーズがある。
- 一方、これまで、HACCPの実施そのものよりも、総合衛生管理製造過程の承認等の認証を取得することが目的化してしまったことや、HACCPは認証を求める一部の事業者のみが実施するものと認識されてしまったこと等を踏まえる必要がある。
- このため、事業者がコーデックス基準に適合したHACCPを実施しているかを自主点検し、そういった事業者の取組状況を行政としてもアピールする仕組みについて検討してはどうか。

食品産業全体での推進の必要性とHACCPの適切な運用確保の重要性

- 危機管理対応を含めたHACCPの導入効果は、フードチェーン全体でHACCPによる衛生管理が実施されることによって最大化される。
- 我が国の食品産業全体に対する信頼感の醸成と国際的な評価の向上を図るためにも、食品産業全体でHACCPの普及を推進するための取組が必要ではないか。
- また、関係業界においても、HACCPの適切な運用が確保されるように、必要な研修等の支援を行うことが求められるのではないか。